

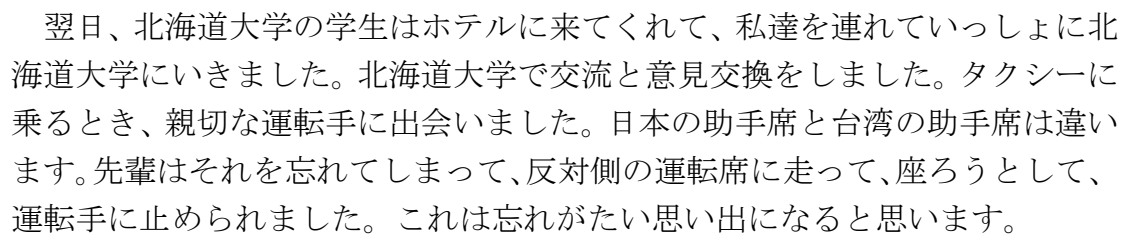
北海道の大学との交流と見学

葉靜儒

私は日本語特訓班に入って日本語を勉強したから、今回の交流と見学に参加することができました。この機会を通じて、私は日本の方々と交流して、日本語の能力を増進させています。今回は、二回目日本にいきましたが、行く前に想像しただけでもうれしくなりました。去年、北海道大学の学生や札幌学院大学の学生などと交流してから、みんなは連絡し続けています。そのおかげで、今回は、日本に行く前に、日本の友達と事前に連絡をしました。日本の友だちも親切に私に伝えてくれました。その親切な答えに、私はもっと期待しました。

4月15日の朝早くから、私は、桃園国際空港について、飛行機に乗りました。私は日本時間の午後3時に新千歳空港に着きました。まず、札幌に着いた際に、私は予想以上歓迎されました。札幌学院大学の皆さんは非常に親切です！特に楽しかったのは札幌学院大学で交換留学している高雄大学の先輩に会ったことです。私に良い感じをあたえてくれました。その後で、みんなは観光バスでホテルへ直ちに出発しました。バスの中で、みんなは順番に自我介绍しました。先輩の通訳を通じて、日本人学生とは互に理解することができました。先輩も高雄大学日本語特訓班の学生です。先輩は台湾で日本語を勉強したから、日本へ行って、半年の交換留学だけで、日本語は目覚ましい進歩が見られました。環境は言語を勉強することによって、非常に重要です。







交流の皆様は会議室で北海道大学の数年来の発展を聞きました。台湾と日本の最近の出来事についても討論しました。みんなはお互いに意見を交換しました。





二日目の午後は、札幌弁護士会の見学を通じて、鈴蘭事務所を知りました。北海道の僻地には法律の資源が過不足です。僻地でも十分な法律の資源を使うことができるために、札幌弁護士会は、鈴蘭事務所を設立しました。



二日目の夜は北海道大学の学生との懇親会です。高雄大学で日本語特訓班があることに对应して、北海道大学も中国語特訓班があります。このこともあって、みんなの交流はもっと順調でした。今年の二月、今回の交流に来てくれた

北海道大学の学生は、高雄大学にいて、交流しました。それから、今回また会うことができ非常に親切だと思います。



四月十七日、私達は札幌学院大学にいて札大の学生と交流したとともに札大のキャンパスも見学しました。札大の学生は多くの資源を使うことができるのを発見して、図書館の情報も非常に多いです。



学校は回廊の空間を使って、学生にコンピュータを提供して検索してもらっています。学生間の討論ができるように供えるテーブルと椅子もあります。



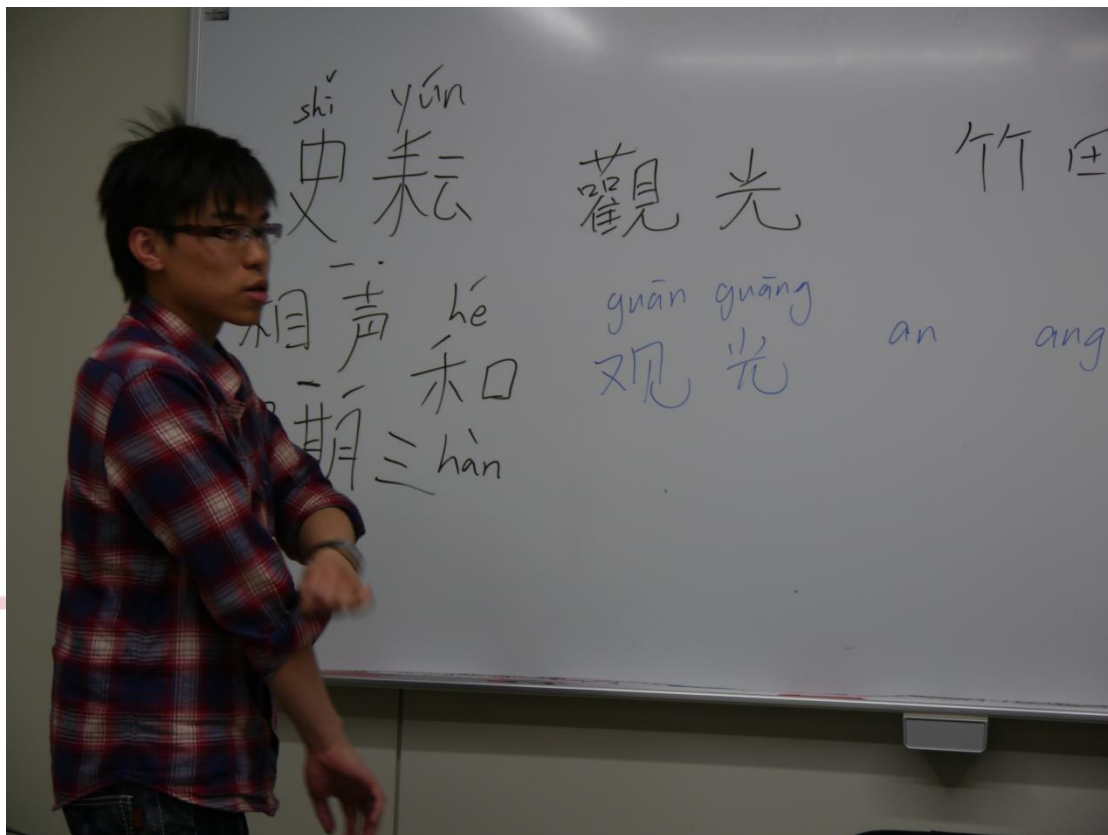


高雄大學と札幌学院大学は数年前から交流を始めました。それから、交流が
いそう頻繁になっています。今、高雄大学には札幌学院大学からの交換留学生が
ひとりいます。札幌学院大学にも二人の高雄大学からの交換留学生がいます。
今回の交流で、みんなはお互いに意見を交換しました。





三日目の午後、札幌学院大学の学生と一緒に小樽運河の見学に行って、あそこではがきも出しました。今、小樽運河は歴史のある観光名所です。往日の両側の倉庫と銀行は今、レストランや店や博物館になりました。小樽運河の沿道には歴史の浮き彫りの版画や人物の記念碑があって、芸人もその演技を見せてくれました。小樽運河は独特な町です。今回は二回目小樽運河に行ったので、私は小樽運河の美しさを体感することができます。



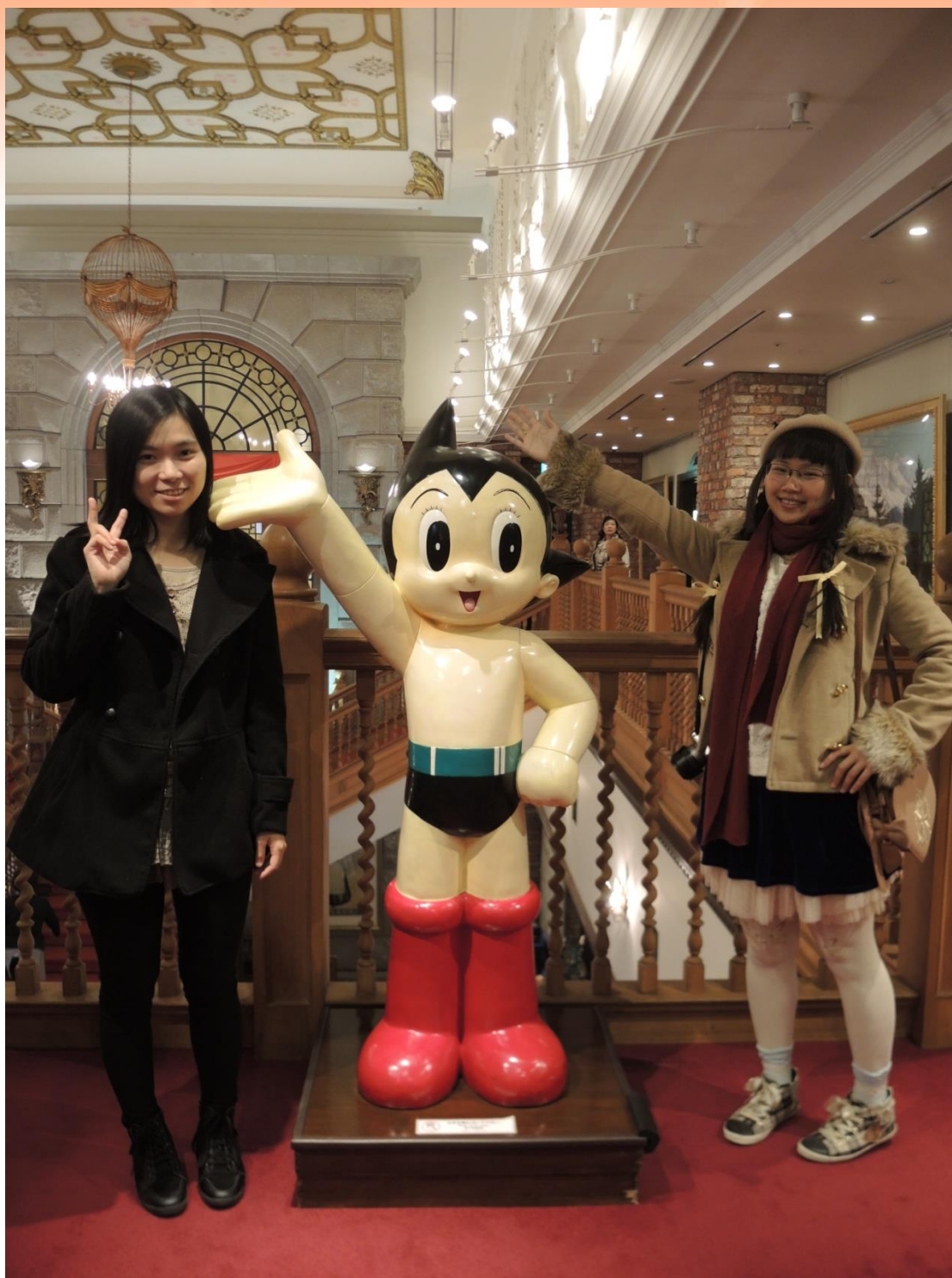
三日目の夜、北海道大学にいて、中国語特訓班を見学しました。中国と台

湾の留学生がいるから、日本の学生は早く中国語の勉強に慣れることができます。



四月十八日、白い恋人パークに行きました。白い恋人パークに着いたら、先にイギリス式の中庭が見えました。工場を改装した白い恋人パークでチョコレートの歴史と製造方法を学ぶことができます。それ以外、札幌からくり時計塔や昔の子供のおもちゃ箱をも見学しました。





白い恋人パークの中で、いろいろな可愛い物があります。今回は二回目白い恋人パークに行ったが、綺麗なものを見ると、写真をとりたいくなります。





白い恋人パークの外には日本プロサッカーチームの練習場があります。去年、練習場は全部雪に覆われて、全然見えなかったです。やはり感銘は異なる環境と心情によって異なります。昼食はラストランで食事をしました。あそこではコンサドーレ札幌の練習グラウンドを眺めながら食事をすることができます。





四日目の午後は自由行動の日程です。私達は北海道の学生と美術館にいて、慕夏展を見ました。美術館の中で、深刻な事件がありました。私は携帯電話を切ることを忘れたので、携帯電話が鳴りました。私は非常に恥ずかしかったです。





四日目の夜に、札幌学院大学の先生と学生との懇親会がありました。多くの知り合いの卒業先輩が来てくれました。私は楽しかったですし、感動しました。前回、台湾で交流したときは短い期間であっても、雑談したりまた賑やか話したりすることになりました。お互いの意思疎通の上で、日本語の特訓班の勉強非常に役に立ちました。しかし、そのとき、お互いに言語が下手でしたから、時々相手の言いたいことを理解することができなかったこともありました。時々、話が詰まったとき、別の話題に切り替えました。相手を理解することが十分にできないが、お互いの距離はもっと近くなりました。





四日目の深夜、みんなは一緒にホテルでカードを遊びました。小さい部屋の中で、とても暖かいと感じて、去年の交流のことも思い出しました。交流のたび

にカードを一緒に遊びました。つまらないですが、毎回は異なる思い出を創造することができます。



四月十九日の朝、キリンビール工場に行きました。キリンビール工場を見学しました。大部分の時間は札幌学院大学の学生とあちこちで一緒に写真を撮りました。この写真はいい記念になります。空港についてから、私は別れの雰囲気を感じはじめました。すこしの寂しさがあります。北海道での五日間には、充実した時間を過ごしました。。この日、日本の友たちは私たちに付き添ってくれて、あちこち一緒に行ってくれました。私は心より感謝いたします。みんなはまた美しい思い出を作りました。学生たちの間には、単純なので、交流しやすいと思っています。交流したり台湾を紹介したりすることができます。今回の交流は、学生間の交流だけでなく、国民外交でもあります。毎回の日本学生と交流を通じて、日本人に台湾を認識させて、台湾のことが好きになるよう努力しています。私たちも彼らの熱情のおかげで、少しずつ日本を認識して、日本のことが好きになっています。今度の交流の機会があれば、日本の文化についていっそう知りたいです。日本人と交流をしてから、もっと日本語を勉強したくなります。短い数日間とはいえ、北海道のいろいろな見識を広げまして、実に非常に楽しかったです。いろいろと面白いことも見ました。今回の交流は決して忘れません。国際交流のために、もっと日本語を勉強します。

北海道的大學交流與參訪

葉靜儒

能參與這次的交流與參訪是因為我是簡玉聰老師所開設的日語特訓班的學生，藉由這個機會讓我們再到日本去交流，增進日語能力。因為這次不是第一次去北海道和那邊的學生及律師公會交流，所以這次和 EMLBA 一起的北海道企業參訪前我們就一直和之前認識的北海道大學及札幌學院大學的學生以及律師公會的律師姊姊聯絡，大家都很親切地回應我們，讓我們對這次的交流更加的期待了。

4/15 一早就到桃園國際機場搭飛機，日本時間三點到達日本，一出海關就看到札幌學院大學的老師及同學們接機真的倍感開心。其中最開心的莫過於見到在札幌學院大學交換的學姊，大家寒暄一番後便坐上札幌學院大學幫我們安排的巴士前往接下來要住的飯店。在巴士上面，我們及札幌學院大學還有 EMLBA 的學生輪流自我介紹，學姊則扮演翻譯的角色，讓台灣與日本的學生可以互相了解，不懂的地方再由簡玉聰老師幫忙協助翻譯。學姊也是日語特訓班的學生，在台灣有了一定的日語程度後再到日本交換了半年，日文真的進步了很多，基本上都可以很流利的對談了，由此可見環境真的很重要。大家回飯店休息之後再和律師公會的律師們及北海道大學的老師一起吃飯交流。



我們是和之前就認識的律師姐姐坐同一桌，我們聊了很多，對對方有更進一步的認識，除此之外也知道日本的文化有些許的在改變，像是雖然日本還是飲酒文化十分盛行的國家，但現在較年輕的一輩不再那麼喜歡在下班後聚一起去喝一杯。到日本的第一天晚上大家都相談甚歡。

4/16 一早，北海道大學的學生就到飯店帶大家一起到北海道大學做意見交換、雙方交流。在去的途中遇到了親切的計程車司機，剛開始學姐忘了日本的駕駛座在右邊，上車前鬧了點小笑話，跑到駕駛座要坐，我覺得這是個難忘的回憶。這次也是我第二次到北海道大學，第一次是看見大雪紛飛的北海道大學，而這一次沒有下雪，不管有沒有雪景，北海道大學仍然是那麼的漂亮。



這次到北海道大學除了做意見交流外，也見了之前認識的台灣留學生。他負責這一天我們的交流活動。





之後，大家到會議室聽鈴木賢老師講解北海道大學近年來的發展也說了台灣及日本最近所發生的事情，大家互相交換意見。



下午到了辯護士會參觀，也認識了鈴蘭事務所。鈴蘭事務所是一家專門服務偏遠地區的律師事務所，有鑑於偏遠地區的法律資源不夠充足，每年都會派遣律師義務到偏遠地區做服務。那份服務的心正是我們大家都應該學習的。





晚上是我們和北海道大學的學生的懇親會。簡玉聰老師在高雄大學開了日文特訓班，而鈴木賢老師也在北海道大學開了中文特訓班。託兩位老師的福，我們學生之間的交流更為順利。這些北海道大學的學生今年二月多才剛到過台灣和高雄大學做交流，所以現在又再見面覺得十分地親切，大家一起聊天，聊到當初他們到台灣一起去過的地方，也又互相教對方自己國家的語言，突然覺得雖然台灣和日本是兩個不同的國家，但是其實我們很親近。





4/17 我們到札幌學院大學做交流，到了學校後先參觀了一下學校。發現學校學生可以使用的資源很多，資訊也蠻流通的，到處都可見布告欄，有什麼資訊一覽無遺。



學校也善加利用了走廊的空間，擺了電腦可供學生查詢，一旁還有桌椅供學生討論或是坐下連絡感情。





高雄大學和札幌學院大學從幾年前就簽了交流協議，在那之後交流甚為頻繁。目前高雄大學有兩個學生在札幌學院大學做交換，札幌學院大學也有一個學生在高雄大學做交換。自從去年二月第一次和札幌學院大學的學生做交流後，我們學生私底下就有保持聯絡，偶爾會寒暄問候一下，互相關心一下對方。覺得交流之餘可以也交朋友是一件非常開心的事。中午在學校的食堂用餐，食堂的環境採光很好，用餐環境很舒服。中午的用餐時間我們也和札幌學院大學的經濟學部的老師聊天交流，和他介紹台灣。

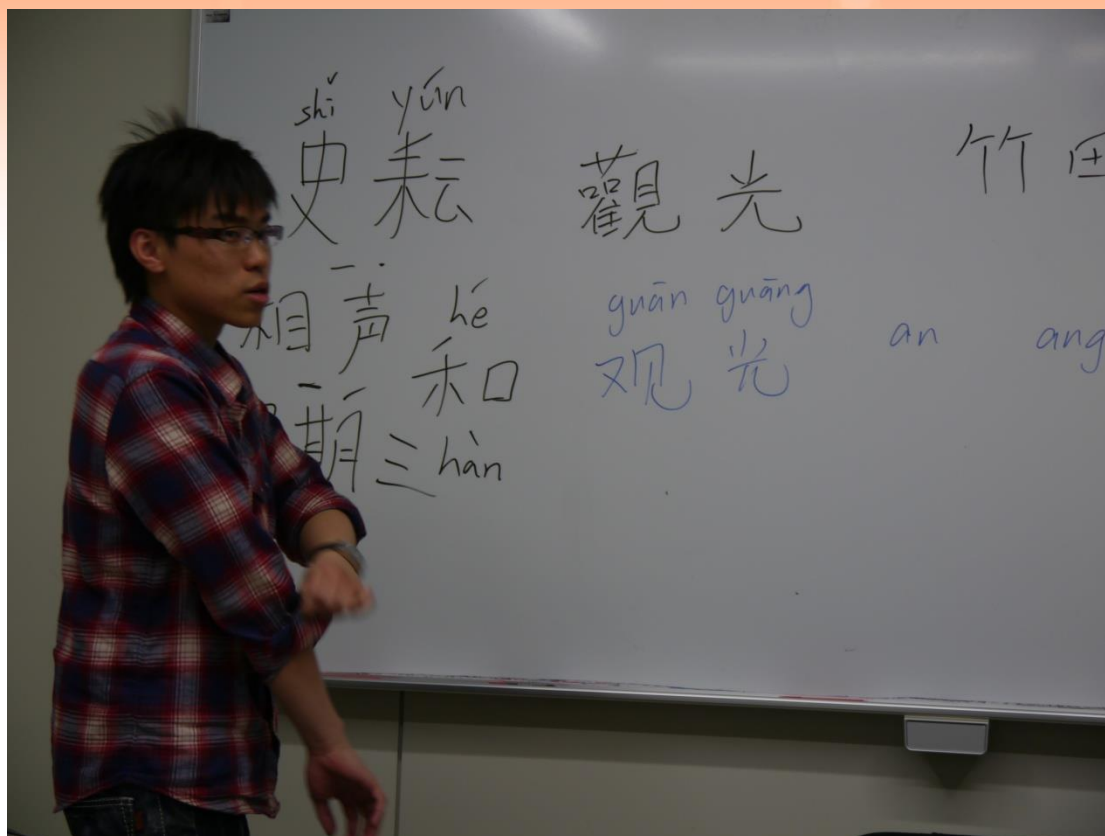




下午和札幌學院大學的學生一起去了小樽運河，到處走走晃晃，也寄了明信片。小樽運河現今為歷史觀光景點，舊日兩旁的倉庫及銀行，早已變身為餐廳、商店及博物館，向遊人展現當年浪漫風采。小樽運河沿岸設有散步小徑，沿路豎立著記錄著小樽歷史的浮雕版畫、人物紀念碑，隨時也可見街頭藝人獻技，能感受到小樽獨特的小鎮風情。這次也是第二次和札幌學院大學的學生一起到小樽運河，還記得去年大家逛得很急，覺得時間太少都逛不完，不過這次卻逛得很悠閒很盡

興，雖然是同個地方，但是逛了第二次確有不同的感覺，也許是身邊人的關係，也或許是心境的轉變，這次我更能體悟小樽的美麗。





晚上和北海道大學的學生約定到他們學校看中文特訓班上課的情況。覺得他們中文特訓班的學習成效挺好的，因為有班可以因材施教，也因為有中國及台灣的留學生幫忙帶學習中文的日本學生，日本學生可以比較快對中文上手，覺得這也是值得日文特訓班學習的地方。

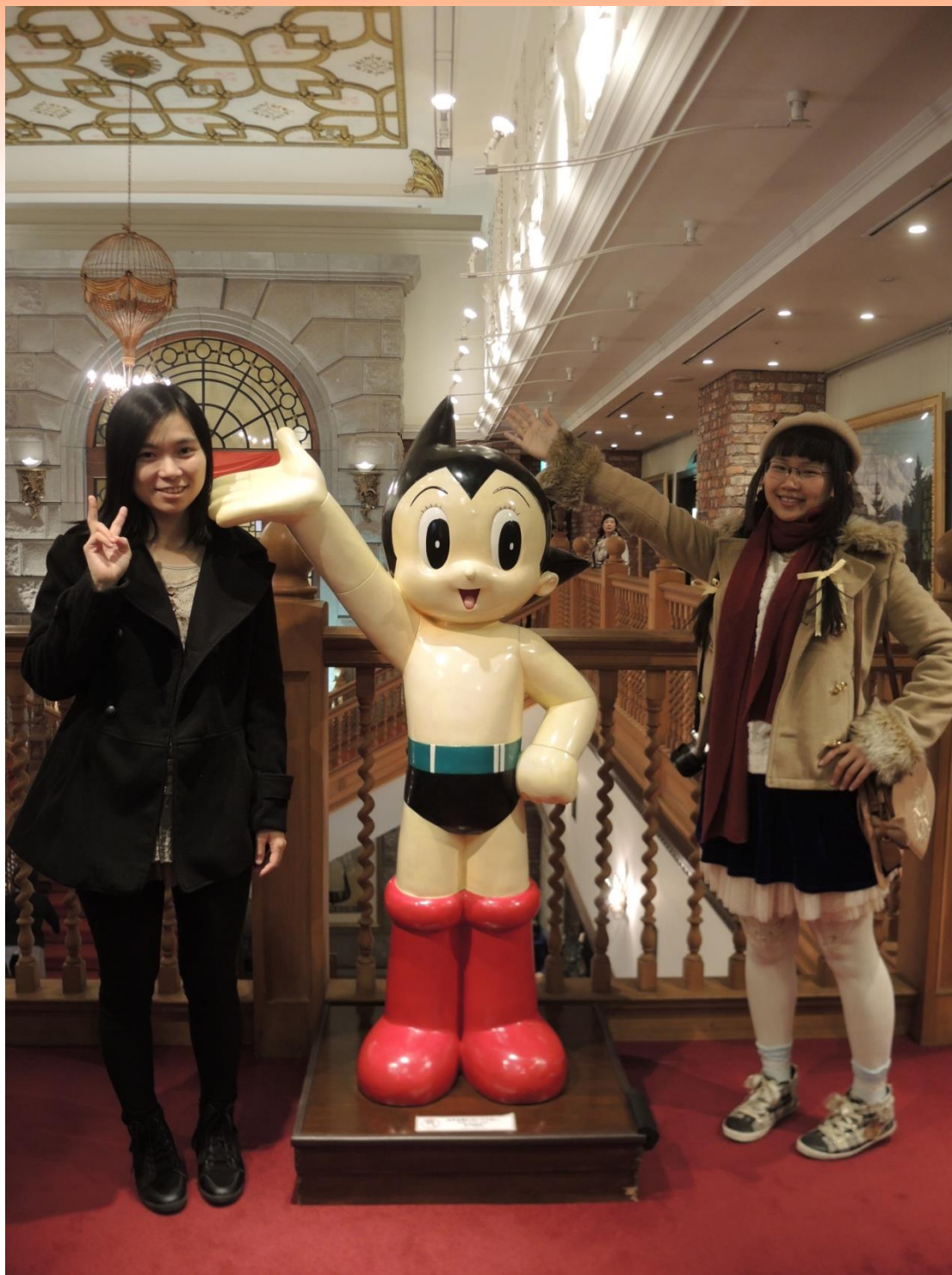




4/18 一早我們就前往白色戀人公園參觀，到達白色戀人公園，會先看到英國式的中庭，地上鋪滿著紅色的磚塊，另外也有噴水池、街道燈等，濃厚歐洲風情有如置身在國外城堡的庭院。在由工廠改裝而成的白色戀人公園，除了可以學習到巧克力的歷史及製造方法、體驗制作白色戀人以外還可以參觀白色戀人的製造工廠、玩具博物館及為了紀念此博物館 5 週年所蓋的札幌機器鐘塔。



看著工廠內的餅乾製作，就讓我想起好吃的白色戀人餅乾。



白色戀人公園裡海有許多可愛的公仔可以拍照。這次也是第二次到白色戀人公園參觀，但也是一樣看到任何東西都覺得新穎想拍起來再做一次紀念。





這次才發現現在白色戀人公園外面有個日本職業足球隊的練習場，第一次來的時候完全被大雪覆蓋，完全看不出來旁邊是個足球練習場，果然每次看都會有不同的感受。





下午的行程是自由行，我們又和北海道的學生相約去看慕夏展，在美術館裡面發生了一兩件讓我印象深刻又感到丟臉的事情，第一件事情是我的手機忘記關靜音，而且就這麼剛好的有人打電話給我，鈴聲也和平常不一樣，所以我也不以為意的讓手機響了一陣子，直到鈴聲越來越大聲，發現是自己的手機再響真的想找個地洞鑽進去，也還好那個時候才剛進去看展，離入口處很近，還聽得到外面吵雜的聲音。第二件事情則是我認錯了人，看畫看一看和旁邊的人討論了起來，後來才發現她不是認識的人，只好和她說抱歉我認錯人了。這件事雖然糗倒也難得，值得紀錄。





晚上的我們則是和札幌學院大學的老師及同學們聚餐，這次的聚餐來了很多已經畢業的學生，真的覺得很感動，雖然距離上次在台灣見面已經有點久了，但是聊了一下之後又可以繼續熱絡起來覺得很開心。當然語言方面還是我們溝通的最大障礙，很多時候雙方聽不懂雙方想要表達的，只能比手畫腳，不然就是一笑置之後冷場，再繼續下個話題。雖然如此還是覺得我們很近，因為我們都有那顆熱情的心。





在聚餐結束之後，日本學生到我們入住的飯店一起玩牌，八個人擠在小小的房間裡覺得很溫馨，讓我想到去年二十幾個人擠在一個房間裡面玩牌聊天。雖然每

次聚在一起的活動地點都大同小異，但是還是不會覺得無聊，每一次的見面都可以創造出不同的回憶。



4/19 一早，去參觀了麒麟啤酒工廠，大多時間都和日本的同學到處拍照留下紀念。到機場後，真的感受到別離的氛圍了。有些許的感到不捨。時間雖然都被壓得特別的緊，但在日本的這五天覺得過得特別的充實。這幾天和日本學生又創造了一個不一樣的經驗，一個美好的回憶。

覺得學生和學生之間，可以很容易的做交流及介紹台灣，這次的交流不僅僅是交流，應該也算是小小的國民外交，讓日本的學生更認識台灣、更喜歡台灣。而我們也因為他們的熱情而更認識日本、更喜歡日本。每一次的日本行，都讓我對日語的學習更有興趣，為了更能夠清楚表達自己，讓雙方更親近正是我學習的日語的動力。這次的交流，又讓我更想把日語學好了。

